



## 東北における観光の状況

---

令和3年6月11日

問い合わせ先

観光部観光企画課

TEL: 022-791-7509

# 4月の各地の状況(宿泊施設)

## ○ 4月の宿泊施設の状況

<日本旅館協会東北支部連合会調べ>

県別	宿泊者数 対2019年同月比	その他(※)
青森 (11施設)	24%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏等の緊急事態宣言により、<u>修学旅行の中止、延期</u>があった。</li> <li>・新型コロナウイルス対策による各種イベント中止の影響があった。</li> </ul>
岩手 (24施設)	45%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>修学旅行の延期</u>があり、大きく落ち込んだ。</li> <li>・岩手県の「<u>たび応援プロジェクト</u>」が始まり、GWについて昨年よりは回復した。</li> </ul>
宮城 (22施設)	17%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年のように休業するということはないものの、まん延防止重点措置の影響が大きい。</li> <li>・昨年に続き、<u>教育旅行の中止</u>があった。</li> </ul>
秋田 (7施設)	54%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年のように休館するということはないものの、コロナ前には及ばない。</li> <li>・首都圏等の緊急事態宣言を受け、4月25日より大量のキャンセルがあった。</li> </ul>
山形 (19施設)	23%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年のように休館するということはないものの、例年には及ばない。</li> <li>・<u>県民限定クーポンの利用が増え、域内利用が多くなってきている。</u></li> </ul>
福島 (20施設)	29%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新形コロナウイルスの感染拡大とともに予約数が減少している。</li> <li>・首都圏等の緊急事態宣言により、予約状況が大きく落ち込んだ。</li> </ul>
東北(103施設)	30%	

## ○ 4月の宿泊施設(ホテル)の状況

<東北運輸局調べ>

県別	宿泊者数 対2019年同月比	その他(※)
東北 (15施設)	42%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県独自の緊急事態宣言及びまん延防止重点措置、また山形県独自の緊急事態宣言により、大きく伸び悩んだ。</li> <li>・宮城県では、3月に比べ県内客が半分以下となった施設もあった。</li> <li>・他県でも、首都圏等の緊急事態宣言の発出を受け、東北DCなどの<u>国内ツアーのキャンセルが多数発生した。</u></li> </ul>

※:いずれも複数の宿泊施設による景況感

# 今後の見通し(宿泊施設)

○ 7月頃の宿泊者数の見通し



















<東北運輸局調べ>





県別	対2019年比		コメント
	現状 (5月)	今後の見通し (7月)	
青森 (5施設)	30%~60%	30%~70%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状より回復傾向にあると見込む事業者が多い。</li> <li>・元々、現在の緊急事態宣言等の対象地域からの利用者が多く、全国的な感染率、ワクチン接種状況、オリンピックや国内各地でのイベント開催状況の影響を大きく受ける。</li> </ul>
岩手 (4施設)	50%~100%	60%~70%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状より減少傾向にあると見込む事業者が多い。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の状況が改善し、ワクチン接種率が向上するのが一番よい。</li> <li>・オリンピックの開催状況により首都圏からの需要が高まることに期待する。</li> </ul>
宮城 (5施設)	10%~90%	20%~120%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状より回復傾向または同程度と見込む事業者が多い。</li> <li>・<u>県民限定のマイクロツーリズムがスタートすると状況は好転する。</u></li> <li>・<u>ワクチンを接種した方から旅行へ出るのではないかと</u>思われる。</li> </ul>
秋田 (4施設)	50%~100%	40%~80%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状より減少傾向にあると見込む事業者が多い。</li> <li>・<u>県、市による宿泊補助で稼働率が伸びたが、この利用枠を使い切った後に不安がある。</u></li> <li>・緊急事態宣言の解除、ワクチン接種状況、GoToトラベルの再開などが予約に大きく影響する。</li> </ul>
山形 (4施設)	30%~90%	10%~90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状より減少傾向にあると見込む事業者が多い。</li> <li>・隣県からの動きが出てきたが、関東地方の予約がいまだに低迷している。</li> <li>・感染状況で大きく状況が変わり、利用者が早めに予約するメリットがないため、<u>先が見通せない。</u></li> </ul>
福島 (4施設)	20%~40%	10%~110%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状より減少傾向にあると見込む事業者、回復傾向にあると見込む事業者が半々である。</li> <li>・現在の感染状況はステージ2相当以下ではなく、旅行需要が動き出すイメージが持てる政策、報道がない状態であり、<u>先が見えない状況が続いている。</u></li> <li>・オリンピックの開催により、一時的には利用者の減少が鈍化する可能性がある。</li> </ul>

# 5月の各地の状況(DMO)

県別	DMO(マネジメントエリア)	各地の状況・今後の展望
青森	(公社)青森県観光連盟(青森県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青森県においては、クラスターの発生、感染者数の増加は収まらず、医療体制の厳しい地域も見られるようになった。そういった感染状況も影響し、<u>県内の夏祭り中止を決める地域が続々と現れた</u>。観光関係者にとっては夏の時期の入込を期待していただけに、落胆も大きい。</li> <li>○世界文化遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、5月26日に世界遺産委員会の諮問機関であるイコモスによる評価結果は「登録」と勧告され、この夏の世界遺産登録が現実的なものとなった。今後注目を集めることが予想されるため、この好機をしっかりと活かし、誘客に向けて情報発信等に取り組んでいくこととしている。</li> </ul>
岩手	(一社)世界遺産平泉・一関DMO (一関市、平泉町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平泉町内のホテルでは、宿泊者数が一昨年度と比べて2割ほどとなっている。団体旅行客は修学旅行、高校スポーツ予選などの予約が一斉にキャンセルになり激減した。また、<u>岩手県民割の利用で数百人の集客はあったが花巻市などの自治体の宿泊補助を上乗せした地域と比べると効果が薄かった</u>。</li> <li>○ワクチン接種が地域住民にも開始されているが、収束ムードにはなっておらず、積極的な観光集客プロモーションが行えていない。<u>マイクロツーリズムを集客メインターゲットにする方針</u>であり、6月11日からの一関市による東北6県の県民対象とした宿泊割引をきっかけとして集客を行っていくこととしている。</li> </ul>
宮城	(株)インアウトバウンド仙台・松島 (仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○GW以降明け以降の週末は、若干客の戻りが見られた。特に、松島においては29、30日の両日は、宮城県内の感染者数も落ち着いていること、またワクチン接種も開始されたことで、<u>近隣からの来訪者を中心に4月に比べると回復傾向であった</u>。</li> <li>○感染者数(病床数)の減少とワクチン接種の進捗が進むことで、観光客の心理や行動に大きく影響が及ぶと考えられるため、<u>今後は県内・近隣からの来訪回復につながっていくことを期待している</u>。</li> </ul>
秋田	(一社)秋田犬ツーリズム (大館市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日景温泉(大館市)では緊急事態宣言の影響により東京からの予約がストップしている。「あきた県民割」により宿泊者はいるものの稼働率は3割程度である。6月の予約状況は相当悪い状況である。</li> <li>○エリア内はしばらくは「あきた県民割」などの需要に細々と頼っていくマイクロツーリズムが核になるかもしれないが、DMOとしては、<u>各種セミナーの開催やDXの取組を進め、アフターコロナに向けた準備期間、掘り起こし期間と割り切っており、事業者によりそう形でインバウンド回復に備えていくこととしている</u>。</li> </ul>
山形	おもてなし山形(株) (山形市、上山市、天童市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県を跨いだ往来、首都圏からの往来が減っているため、エリア内の温泉旅館は日帰り宿泊共に厳しい状況である。昨年比ではプラスとなるが、<u>昨年の緊急事態宣言中の自粛期間と重なるため、例年比ではマイナスとなっている</u>。</li> <li>○首都圏で新型コロナが収束しないと今後も宿泊客の増加が見込めず、そば店等を含めて、温泉街の飲食店の事業存続が危ぶまれる。9月以降は遠足等の団体予約が入りつつあり、<u>ワクチンが行き渡ってからが本格的な回復になると考えている</u>。</li> </ul>
福島	(一社)いわき観光まちづくりビューロー (いわき市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いわき市では4月28日～5月16日の期間に「感染拡大防止一斉行動」として、市の施設を臨時休館としていたが、感染拡大により5月31日まで延長し、臨時休館となった。アクアマリンふくしま、いわき・ら・らミュウは開館しているものの、<u>コロナ禍前と比較して入込は大幅減となっている</u>。</li> <li>○市内のワクチン接種対象者が全員ワクチン接種するまでは、これまでと同様の事業展開ではできないと考えており、<u>今夏での大きな事業を展開は厳しいという想定である</u>。</li> </ul>

# 5月の各地の状況(観光地)

県別	施設名	5月上旬	5月中旬	5月下旬	コメント(5月の状況)
青森	ねぶたの家 ワ・ラッセ				<ul style="list-style-type: none"> <li>○5月上旬は好調な日があったものの、5月全体としては例年を大きく下回る客足であった。</li> <li>○訪日外国人客については4月に引き続き来館者はゼロとなっている。</li> <li>○<u>個人客及び県内客が中心</u>となっている。</li> </ul>
岩手	中尊寺				<ul style="list-style-type: none"> <li>○5月全体としては例年を大きく下回る客足であった。</li> <li>○4月と比較して5月全体の入込数の伸びは見られない。</li> <li>○<u>個人客が中心</u>となっているが、教育旅行を中心として団体利用もあった。</li> </ul>
宮城	瑞鳳殿				<ul style="list-style-type: none"> <li>○5月12日より再開館したものの、5月中下旬は例年と比較すると下回っている。なお、再開館以前(3月26日以前)と比較すると、<u>県内客を中心に増加傾向</u>が見られる。</li> <li>○団体利用はほとんど見られず、<u>個人客が中心</u>となっている。</li> </ul>
秋田	なまはげ館				<ul style="list-style-type: none"> <li>○5月全体として例年を下回る客足であった。</li> <li>○県内及び隣県からの教育旅行を除き、団体利用はほとんどない。</li> <li>○秋田県による県外往来の自粛協力要請により県外からの個人客の利用は少ないが、<u>県民割の影響</u>もあり、県内からの個人客の割合が例年より高い傾向にある。</li> </ul>
山形	山寺				<ul style="list-style-type: none"> <li>○5月全体として例年を大きく下回る客足であったものの、<u>4月と比較すると入込数は増加した</u>。</li> <li>○<u>個人客が中心</u>となっており、団体客はほとんど見られない。また、県外客は例年より少ない。</li> </ul>
福島	大内宿				<ul style="list-style-type: none"> <li>○5月全体として例年を下回る客足であった。</li> <li>○<u>首都圏等での緊急事態宣言の延長等</u>が客足に影響していると考えられ、県内外客を問わず減少が見られる。</li> <li>○団体利用はほとんどなく、<u>個人客が中心</u>となっている。</li> </ul>

※「」:例年を上回る、「」:例年並み、「」:例年を下回る、「」:休業  
(東北運輸局ヒアリングによる景況感)